

〈ミライズ映画祭〉

2021年1月17日（日）①10：00 ②14：00（開場は30分前） ミライズ 市民ホール



季節のように生きる。

雨の日は雨を聞く。雪の日は雪を見て、夏には夏の暑さを、冬は身の切れるような寒さを。五感を使って、全身で、その瞬間を味わう。

お茶の魅力に気付き、惹かれていった女性が体験するのは、静かなお茶室で繰り広げられる、驚くべき精神の大冒険。

黒木華、樹木希林、多部未華子の初共演で贈る、

一期一会の感動作がここに誕生。

にちにち
これこうトっ

日は是好日

黒木華 樹木希林 多部未華子

原田麻由 川村紗也 滝沢恵 山下美月

郡山冬果 岡本智礼 荒巻全紀 南一恵

鶴田真由 鶴見辰吾

監督・脚本・大森立嗣

原作・森下典子「日は好日」（お茶）が敬愛された15のしあわせ（新潮文庫刊）

プロデューサー・村松道子 企画・金井博治 近藤賢幸 撮影・横濱浩治 照明・水野研一 美術・原田真生 編劇・元紀
録音・吉田康雄 装飾・田口貴久 衣装・宮本まき江（ヘアメイク） 費用効果・伊藤雄一 編集・平野亮
スタイル・三木悠吉 助監督・小南悠也 音響・藤井南佑 制作担当・飯塚香織 ラインプロデューサー・伊藤真入 監字・赤松陽雄
制作（日は好日）制作委員会（ハピネット テレビ東京 東京ケーブルネットワーク TBSラジオ）テレビ大阪
イオンエンターテイメント カラーパード ベンチャーバンク（ハイベストフィルム）ドラゴンマール ヨアケ
制作総務・ハピネット ヨアケ 制作プロダクション ヨアケ ハイベストフィルム 特別協賛 カジワラ ドラゴンマール
広瀬 貴子 坂本 幸雄 特別協力 花博 ネットマガジナルシオシムA 配給 東京ケーブルネットワーク ヨアケ
www.nishimura.com ©2020 日は好日 製作委員会





今を生きる喜び。誰もが味わえる本当の自由。

「人生のバイブル!」多くの読者を救ったロングセラー・エッセイを映画化!

原作は人気エッセイスト、森下典子が茶道教室に通う20年の日々を綴ったロングセラー。瑞々しく描かれる心象風景や青春像、そして「お茶」がもたらす人生訓的な「気づき」の数々は、茶道経験者の枠を越え、様々な岐路に立つ読者にとって心の拠り所となっている。主人公、典子を演じるのは黒木華。その卓越した演技力で、一人の女性の人生をたおやかに演じる。監督・脚本は大森立嗣。初タッグとなるこの二人によって描き出される時の流れは、美しく、そして儚い。武田先生を演じる樹木希林は「習い事の先生」という枠を大きく超えた人生の師匠として、大きな包容力で典子たちを導いていく。そして、典子のいとこ・美智子役の多部未華子が、お茶室に飾られる一輪の花のように映画に彩りを与え、静かな物語に躍動感を与える。日本映画界屈指の実力派キャスト・スタッフで贈る、一期一会の感動作がここに誕生した。



日日是好日——
それはお茶が
教えてくれた幸せ。

真面目で、理屈っぽくて、
おっちょこちょい。

そんな典子（黒木華）は、
いとこの美智子（多部未華子）と
ともに「タダモノじゃない」と

噂の武田先生（樹木希林）の
もとで「お茶」を

習う事になった。

細い路地の先にある
瓦屋根の一軒家。

武田先生は挨拶も程々に
稽古をはじめますが、

意味も理由もわからない
所作にただ戸惑うふたり。

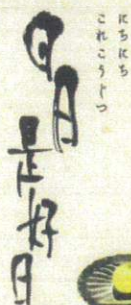
「お茶はまず「形」から。
先に「形」を作っておいて、

後から「心」が入るものなの。」
と武田先生は言うが――

青春の機微、就職の挫折、
そして大切な人との別れ。

人生の居場所が
見つからない典子だが、

毎週お茶に通い続けることで、
何かが変わっていった……



〈ミライズ映画祭〉

日時・2021年1月17日(日) 〈全席自由〉

①10:00～ ②14:00～ (開場は30分前)
(上映時間100分)

場所・美馬市地域交流センター
ミライズ 市民ホール

(徳島県美馬市脇町大字猪尻字西分116-1)
TEL0883-53-1102(9時～20時)

主催・美馬市地域交流センターミライズ指定管理者
あなぶき・TRCグループ

共催・美馬市

後援・朝日新聞社徳島総局 企画提供・徳島映画センター

新型コロナウイルス感染症防止対策として手指の消毒、マスク着用、検温をお客様にお願いしております。またホール内は客席の適切な間隔、定期的な換気を行っております。

入場料	前売り券販売場所
○一般・大学生・・・1200円 (当日1500円)	・美馬市地域交流センターミライズ ・平惣全店
○小・中・高生・・・800円 (当日1000円)	・小山助学館本店 ・アワーズサービスカウンター(阿波市)
*未就学児お子様は入場無料ですが、お子様用に席を必要とする場合は子ども料金が必要です	・国金書店(つるぎ町) ・宮脇書店鴨島店